



広 報

特集

産学官連携が開く鑄物の未来

—進化する技術・人—

今月の表紙

▶興味津々・蘇民祭!!
子供ちょこつと体
験 & 大人まじ体験
in 黒石寺

新年の抱負

～ひとつの自治体として
気持ちを新たに～



新年あけましておめでとうございます。

本市は昨年、5月に第1回目となる「スポニチいわて奥州きらめきマラソン」を開催し、また8月には「カヌージャパンカップ」を奥州いさわかヌー競技場に誘致し、皆さまからのご支援とご協力の下、無事成功裏に終えることができました。これは、一昨年開催された希望郷いわて国体において、奥州市が一体となり取り組んだ力が、再び発揮されたものと感じております。この両大会を機に、「奥

州きらめきマラソン」が地域に愛される大会となるように努め、また「カヌー競技」が奥州の地に定着するよう期待しています。

さて、昨年度から10年間のまちづくりの指針としてスタートしている市総合計画では、『地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち 奥州市』を旗印に、「人口プロジェクト」と「ILCプロジェクト」の二つの戦略プロジェクトを基軸にまちづくりの目標を掲げました。

月末をもってその役割を終えることになり、ひとつの奥州市として大きな飛躍を望む新年を迎えることになりました。4月からは、市内30地区センター全てにおいて指定管理者制度が導入されます。市といたしましてはこれまで以上に市民・地域に寄り添い、しっかりとサポートしてまいります。市民の皆様には、地域発展、活性化の拠点として活用いただきたいと考えております。

協働のまちづくりの根幹となるものは、地域、そして市民皆さまの声と活動です。それぞれの地域がこれまで培ってきた伝統と文化を継承し、その活動の輪を広く奥州市に根付かせ、その力を持って、本市の更なる発展に結びつけてまいります。

人口プロジェクトにつきましては、「奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標を達成するため、各分野ごとに横断的な取り組みを強力に推進してまいります。特に、安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、「妊娠前相談」や「妊娠婦への交通費支援」、出産後の「産後ケア」など、新たな取り組み

財政の健全化につきましては、プライマリーバランスの黒字化を前提としながらも、これまでの事業を見直すことと新たな事業を生み出す考えをセットとした「二刀流」で、行政のスリム化と閉塞感の打開、そして活性化に向けて取り組みでまいります。

合併時、激変緩和を目的に設置された自治区は、本年3



クラブは若柳の供養塚体育館で月4回活動する

4年前に神奈川県川崎市から胆沢にUターンした阿部麻利子さん。胆沢ネオホッケークラブで指導者を務める。スウェーデンで発案された競技を元とするネオホッケーとの出会いは川崎市でのこと。「子どもに始めさせたら自分も夢中になってしまった」と麻利子さんは笑う。胆沢でも続けたいと考えていたところ胆沢総合体育館に用具があることを知り、3年前にクラブを結成した。現在、同クラブには小、中学生25人、大人10人が参加する。



あべ・まりこ◎昭和50年、胆沢区若柳生まれ。小学生を中心とした学習・書道塾を営む。ヨガ教室も開き、昨年のダムフェスでは胆沢ダム堤体上でヨガ体験を実施した。祖母、両親、子ども2人の7人家族

麻利子さんの活動からは、子育てへの思いがふれる。開講するヨガ教室でも「育児に疲れた人も息抜きして」と母親向けのコースを用意する。ネオホッケーは親子で楽しめる生涯スポーツ。麻利子さんは、一緒に体験して親子の理解を深めてほしいと願う。そして子どもたちには「楽しみの中から自分の可能性をみつけてほしい」と期待する。「子どもが活動的になった」と言われたことがうれしいという麻利子さん。親と子の笑顔を励みにして、活動は続く。



《今月の表紙》

「興味津々・蘇民祭!! 子供ちょこっと体験&大人まじ体験」(岩手の蘇民祭保存会主催)が12月3日、黒石寺で行われました。深夜や早曉に行われる蘇民祭を気軽に体験してもらおうと、昼の開催です。

写真は裸参りの様子で、参加者は瑠璃壺川で身を清めることも体験しました。クライマックスの蘇民袋争奪戦で使用された蘇民袋は、県内各地の蘇民祭の護符が中に入る特別なもの。子どもの部で取主となった岩谷堂小5年の菊池颯太くん(11)は、「すごくうれしい。大きくなってからも出たい」と語りました。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 市長年頭あいさつ
- 4 【特集】産学官連携が開く
鋳物の未来 ―進化する
技術・人―
- 8 市政懇談会開催報告
- 11 市民活動支援センター事業の
企画提案を募集
市民提案型協働支援事業実績
報告会・制度説明会
協働のまちづくりフォーラム
ラグビーワールドカップ2019
観戦チケットが発売に
- 12 Road to きらめきマラソン
東稲山麓地域の世界農業遺産
認定に向けて
- 13 ILC希望のひかり
- 14 まちの話題
- 15 市政ズームイン
- 16 夢トーク
青春讃歌
- 17 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 18 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 19 おうしゅうこさんぽ
姉妹都市 掛川だより
- 20 情報あらかると
- 24 奥州遺産

特集 産学官連携が開く鋳物の未来

進化する技術・人

市内の企業などにより構成される「いわて鋳造研究会」は、産学官連携の成功例として注目されています。その活動と市の鋳物産業についてお知らせします。

■問い合わせ 市鋳物技術交流センター（☎8666）

や鋳型に必要な粘土と砂などの良質な原材料が容易かつ多量に入手できたため、羽田町周辺で産地が形成されていたものと考えられています。江戸時代には伊達藩の保護を受け、工房の数は増加。明治に入っていくつかの苦しい時期があったものの、鉄道（東北本線）の開通を生かして販路を拡大し、東北一の生産量を誇るまでに成長しました。大正初期の好景気時代には鉄瓶の生産能力が倍加し、鉄瓶黄金時代と呼ばれる時代を迎えています。

て乗り越えようとなりました。もう一つが太平洋戦争の勃発です。軍需品生産の必要が高まり、日用品生産は大きく制限されました。いくつかの工場では、下請けとして軍需機械部品の製造が行われました。皮肉にも、これにより機械鋳物の生産能力が飛躍的に向上し、終戦後に機械鋳物の生産へ転換する企業が現れることになりました。

このようにして本市は、幅広い製品を作る鋳物のまちへと発展したのです。

いわて鋳造研究会の発足

本市の機械鋳物は日用品生産に端を発することもあって、鋳肌が良いという外見的特徴がありました。鋳肌が良いことは着色する場合に便利なこととあって、本市の鋳物の高評価につながりました。

ところが、バブル崩壊などの経済の変化を受けて発注者は、外観より性能を重視する

産地の歴史

本市の鋳物産業の始まりは、藤原清衡が近江（滋賀県）から鋳物師を招いて鍋や釜の鋳造を始めたこととされ、およそ950年前にさかのぼります。藤原氏滅亡によりその保護が失われて鋳物師は各地へ離散していきましたが、砂鉄

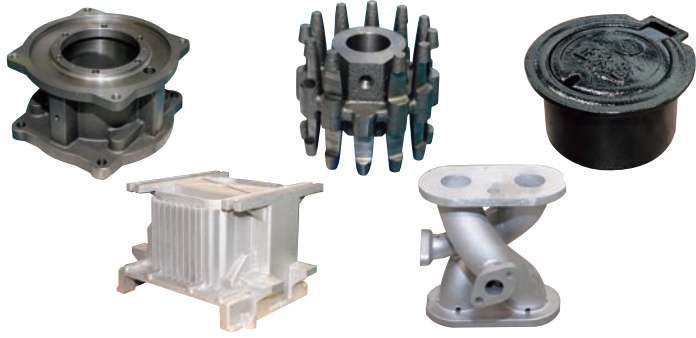
問題の自己解決ができなかったのです。

転機となったのは、平成14年5月の岩手大学と水沢市の相互友好協力協定の締結でした。協定自体はテーマを限定せずさまざまな課題に対応するものでしたが、同じころに開設された市鋳物技術交流センターが鋳物技術の指導の場になるなど、市内での岩手大学の活動が容易になりました。産業において官と学の連携が進みだしたのです。

そして15年4月、岩手大学の堀江皓教授の呼び掛けによりいわて鋳造研究会が発足し、産官学の連携が開始されることになったのです。

市内で製造される機械鋳物

自動車、建設機械、工作機械、農機具など多種多様な機械の部品や上下水道部品などが鋳物で製造されている。水沢鋳物工業協同組合の生産額の8割を占めるなど、その生産量は鉄瓶などの日用品を大きく上回る。



（上）市鋳物技術交流センターでの溶解試験 （下）いわて鋳造研究会の中間報告会。研究・発表は若手社員を中心に、1年の区切りで行われている

意識の改革

研究会には11社がまず参加しましたが、「活動に期待しつつも、ついていけないかという不安が大きかっただろう」と佐藤会長は語ります。そのころの研究会には、呼ばれたから来たというような消極的な出席もあり、日々の生産に追われ現場技術者の出席が難しい状況もありました。また、そのころの鋳物企業は互いにライバル意識があつてか、情報の共有にも抵抗があるようでした。

研究会に対する意識が変わってきたのは、岩手大学鋳造技術研究センター水沢サテ



平成23年からいわて鋳造研究会の会長を務める佐藤庄一株式会社根岸工業所代表取締役会長

ライトが設置されて、岩手大学などの協力により材質調査が進むようになってから。自分たちでは難しかった検査などが大学の支援により容易になったことで、研究会や市鋳物技術交流センターの設備が有用であることを企業が認めるようになっていったのです。

それ以降各社は、研究会に若手社員や現場をよく知る技術者を参加させて、大学からの知識を吸収することに努めるようになりました。若手社員たちが交流したことで企業間の情報の交換も進み、研究会に参加する企業は、競争相手は地元企業ではないということに気が付いたのです。

産学官連携が開く鋳物の未来

進む取り組み

技術の高度化

○炊飯器内釜の量産 ㈱水沢鋳工所

炊飯器のような家電の部品は、求められる寸法や重さの精度が高く、多くの工場が受注を断っていた。図面を見たとき、薄い部分もあり鋳造では難しいと感じたが、そういう点では、鋳造、機械加工、表面処理をこなせる当社の能力が生かせる製品だった。平成23年に試作を開始したが、要求が高いため不良となる品も多く、量産のハードルは高かった。量産が始まって、材料の溶解能力や工作機械の数が自社だけでは足りないなどの問題があったが、協力

工場に助けられて乗り越えることができた。南部鉄器の伝統を製品に落とし込めたことが、25年の「ものづくり日本大賞特別賞」受賞につながっている。この経験を今後も生かしたい。



及川勝比古代表取締役社長と炊飯器内釜

新技術の導入

○南部鉄器の3Dデジタルデータ化 ㈱及富

型の摩耗の影響を抑えたいと関係企業に相談したところから研究がスタートした。当社と藤浩製作所（中子設計）、㈱サンアイ精機（金型設計）、岩手大学、いわて産業振興センターが共同で取り組み、いわてデジタルエンジニア育成センターにアドバイザーを務めてもらった。

デジタルデータを基に3Dプリンターで型が作れ



菊地章専務取締役と3D技術を活用して製作された鉄瓶

るほか、砂型3Dプリンターを使えば、型無しに鋳型が作れる。細かい修正を簡単に加えることができるのもデジタルデータならではの。顧客との意思疎通の向上にもつながっている。この技術を使えば複雑な加工も可能で、鉄瓶の内側に手を加えることも、それによって機能を付加することもできる。異業種交流がよい結果を生んだのだろう。

人材育成

○学位（工学博士）の取得

㈱及春鋳造所 及川 春樹 専務取締役

岩手大学大学院に社会人入学し、修士課程、博士課程で5年間通った。研究では、身近にある市鋳物技術交流センター内の設備も利用できて、助かった。学位論文のタイトルは「ホーロー処理した鋳鉄の泡欠陥対策に関する研究」。元々いわて鋳造研究会で、ホーロー処理の不良品を減らすための手順や環境整備などについて研究発表していた。研究を続ける中で、材質についても検討をしたいと考えるよう



及川春樹専務取締役と研究に利用したデジタルマイクロスコープ（顕微鏡）

になり、進学を決意した。成果は、科学的アプローチが身に付いたということ。博士の肩書にプレッシャーを感じることもあるが、期待に応えるため努力していきたい。

代表される産学官の連携は、多くの鋳物企業に恩恵をもたらしています。賞の栄誉に輝いた水沢鋳工所の炊飯器内釜の量産では、岩手大学出身の社員が大きな役割を果たしましたが、同社の及川勝比古社長は、その社員の入社も産学官連携で学生と企業につながりがうまれたからこそと語っています。学位を取得した及春鋳造所の及川春樹専務も、講師や設備など研究環境に恵まれたと感謝します。かつて、原材料に恵まれるという地理的優位から始まった本市の鋳物産業ですが、材料を輸入に頼り、機械鋳物を必要とする国内の主要な工業地帯から距離がある現在では、地理的に優位とは言えず、むしろ逆境にあると言えます。その逆境に打ち勝つ鍵が、優れた技術であり人材なのです。産学官の3者は、かけがえのないパートナーとして連携し、技術の研さんと人材育成などに懸命に取り組んでいます。10年先、そしてより未来を見据えたこの取り組みが、鋳物のまちなみを世界へとさらに高めていくでしょう。

産学官連携が開く鋳物の未来

産

いわて鋳造研究会

技術の高度化
人材育成

学

官

市鋳物技術交流センター



平成14年4月に開設。試験研究、製品試験、商品開発の場として利用され、各種設備を鋳物を中心とした金属工業企業が活用する。鋳造技術研究センター水沢サテライトがセンター内に設置されている。

米倉副所長コメント

年間数千件以上の利用があり、その半分以上をいわて鋳造研究会に参加する企業が占める。センター内の品質管理設備は、先進的な企業では自前で用意すること多い。ここで使い方を学んで、自分たちで用意するようになれば、企業としての評価が高まる。技術力で勝負できる企業に育ってほしい。



米倉 勇雄 副所長

企業の技術力強化、新技術・新商品の研究開発が可能な企業体質への改善を図ることを目的に、平成15年に発足。県内の鋳物関連企業17社が参加し、8月と12月に中間報告、3月に成果報告を行うなどして定期的に活動する。

◎参加する市内企業（14社）

岩手鋳機工業㈱、及源鋳造㈱、㈱水田鋳造所、㈱及精鋳造所、㈱及泰、㈱水沢鋳工所、㈱及春鋳造所、㈱根岸工業所、㈱前田鋳工所、㈱前田合金鋳造所、東北三和金属㈱、㈱佐西、㈱筑摩水沢、㈱及富

産学官連携の体制

岩手大学
鋳造技術研究センター
水沢サテライト

平成14年5月に水沢市と岩手大学は相互友好協力協定を締結。18年1月に同大学工学部附属鋳造技術研究センターが発足して水沢サテライトが設置され、鋳造企業への支援が始まった。

同センターの教授4人が、いわて鋳造研究会で技術顧問を務める。研究会と連携し、大学での研究の成果を製品開発に応用するなど、共同研究に取り組む。



平塚 貞人 センター長

平塚センター長コメント

奥州市における産学官連携は大学の外部評価で、先進的な取り組みと高く評価された。岩手が*キャスティングバレーと呼ばれるような日本の鋳造技術の拠点になることを目指している。

*キャスティングは鋳物のこと。アメリカのシリコンバレーになぞらえた呼び方

広がる評価

結成10周年となる平成24年に、研究会は一つの成果を残します。それは、盛岡市で行われた日本鋳造工学会全国大会での発表でした。学会発表は、大学や大企業を中心。同じ県内からとはいえず中小企業が、それも一つの市から6つも発表することは驚きをもって迎えられ、大きな話題となりました。このことについて佐藤会長は「発表の仕方を学ぶなど、研究会は学会発表を意識していた。発表者の自信に満ちた表情が忘れられない」と振り返ります。以降、全国から注目されるようになったいわて鋳造研究会。昨年9月には、いわて鋳造研究会での功績などにより佐藤会長に「日本鋳造工学会創立85周年特別功労賞」が、優れた鋳物に与えられる「Castings of the Year賞」が研究会の会員である水沢鋳工所の炊飯器内釜に与えられています。

広がる未来

いわて鋳造研究会の成果に



Q ほかのマラソンと比較して、どの辺が素晴らしい大会となっているのか。

A 東北の春のフルマラソンは、この大会のみ。北上川周辺コースで高低差が少なく、走りやすいです。通常6時間の制限時間が7時間と長く、初心者でも完走しやすいです。名称にもあるように田植え直後ということもあり、水田がキラキラと輝き、景色が素晴らしいという評価もいただきました。これらの要素により、県外参加者の拡大につながったものと思われ

テーマ
マラソン
マラソン
マラソン

未来を考え、意見を交換 「市民の声」を紹介

Q 県内の小・中・高校や大学、専門学校などとの連携は。

A 市内の学校からボランティア協力をしていただきました。来年もぜひ協力したい」との感想をいただきました。第1回大会は富士大学の選手に出場いただきました。早稲田大学の合宿を本市で多く行っているの、日程が合えば花を添えていただきます。

Q 自分の子どもはまだ小さいが、マラソンに興味を持っている。今は「見る」、もう少ししたら「支える」で家族で協力していきたい。

A 市民でも内容が詳しく分かれば、「ここは応援できそうだ」となることもあると思いますので、丁寧に説明していきます。職員だけ

Q 当日に各施設（地区センターなど）で開催される行事への配慮、動線確保がなされていない。どう考えているのか。

A ほかの行事との重複は仕方のない部分もあります。今年の反省を生かして

Q この環境があることはとても素晴らしい。ぜひこの大会が定着してほしい。また、国際大会の開催などになれば、非常に素晴らしい。

A 沼宮内では、ホッケーの国体会場となったことにより、「ホッケーと言え

Q カヌーをもっと盛り上げてほしい。例えば、学校のクラブ活動として取り組めないのか。

A 学校でのクラブの場合、指導者、場所、さらに移動手段といった課題もあります。できれば、スポーツ少年団活動から考えます。

Q オリンピックのホストタウンの誘致が重要な課題と思うがいかがか。



多くの市民が市政に声を寄せる

—平成 29 年度—

市政懇談会 開催報告

市は、11月20日から12月3日まで市政懇談会を開催しました。今年のテーマは「スポーツを通じた奥州アピール」と「(仮称)地域会議」。市内5会場の一般市民対象の懇談会のほか、市内関係団体などを対象にした懇談会を合わせて11回開催しました。スポーツを通じた本市の魅力発信や、新たな自治と協働の体制整備に多くの市民から意見が寄せられました。

▼スポーツを通じた奥州アピール

本年度、全国に向けて「いわて奥州きらめきマラソン」と「カヌー・ジャパンカップ」の二つの大きなスポーツイベントを開催しました。初めての開催ということもあり、次の大会に向けた課題もありますが、参加した皆さんからは評価もいただきました。この二つのイベントをより良いものにつくり上げ、本市を全国にアピールする良い機会としていきます。



▼「(仮称)地域会議」とは

3月31日をもって地域自治区の設置期間が満了し、住所から「区」の表記が消え、それに伴い各区に設置されていた地域協議会がなくなります。市では、新たに「(仮称)地域会議」を設置して、30地区の振興会との連携を深めることで、情報共有や地域課題の解決につなげていきます。また、市に対し意見を述べることで、できる組織をつくることで、更なる市の一体感の醸成に努めてまいります。

※市政懇談会などの意見を踏まえ、平成29年第4回奥州市議会定例会にて地域会議の条例が可決されましたが、本稿では当時の説明どおり「(仮称)地域会議」の表記としています。

■表 会場別参加者数

会 場	男	女	合計
水沢	49 人	1 人	50 人
江刺	66 人	4 人	70 人
前沢	29 人	2 人	31 人
胆沢	42 人	0 人	42 人
衣川	19 人	4 人	23 人
団体	37 人	14 人	51 人
合 計	242 人	25 人	267 人

(団体：関係団体・各種委員を参集範囲として開催)



■問い合わせ＝本庁政策企画課広聴広報係（内線 418）

30 年度「市民活動支援センター事業」の企画提案を募集します

市は、市民と行政などによる協働のまちづくりを推進するための市民活動支援センター事業を実施しており、平成 30 年度の業務委託における企画提案を募集します。募集要領などを確認の上、お問い合わせください。

- 応募資格 市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人で、特定非営利活動促進法別表中、第 19 号の活動が定款に定められていること
- 事業実施期間 4 月 1 日から 31 年 3 月 31 日まで
※市が委託業務の執行状況が良好と認めた場合は、契約を 3 年間まで継続
- 事業実施場所 奥州市全域
※業務実施拠点は市民活動支援センター（メイプル地下）
- 募集要領などの配布・応募先 本庁地域づくり推進課市民活動係（江刺総合支所・内線 321、〒023-1192 ※住所記載不要）
※募集要領などは市ホームページからもダウンロード可

市民提案型協働支援事業
実績報告会・制度説明会

29 年度ステップアップコースに認定された 16 団体の実施事業の実績報告会を公開プレゼンテーションにて開催します。あわせて、30 年度提案事業募集開始にあたり、制度内容、提案方法などの説明会を開催します。

- 日時 1 月 28 日（木）午後 1 時～5 時
- 場所 市民活動支援センター会議室

29 年度市協働のまちづくり
フォーラム

先進的な地域づくり活動の経験交流の場を設け、成果の共有と新たな事業展開への契機とするためのフォーラムを開催します。

- 日時 2 月 4 日（木）午後 1 時 30 分～4 時
- 場所 江刺体育文化会館ささらホール
- 内容 基調講演「地域創生 元気なまちは何が違うのか？『できない』を『できる！』に変える実現力」
講師 東京農業大学教授・日本地域創生学会会長 木村俊昭氏
協働のまちづくりアカデミー受講生による活動実践発表ほか

■問い合わせ＝本庁地域づくり推進課市民活動係（江刺総合支所・内線 321）

ラグビーワールドカップ 2019™ 観戦チケットが発売になります！

岩手・釜石会場の 2 試合を観戦できるチケット「スタジアムバック（オリジナルネックストラップ付き）」や、通常チケットの県民先行発売の詳細が発表されました。

一生に一度となるかもしれないこの機会にチケットを手に入れ、ラグビー世界王者を決定する大会を観戦しながら、県民一丸となって大会を盛り上げましょう！

スタジアムバック（釜石会場で開催される 2 試合を観戦できます）
一般抽選販売申込期間 1 月 27 日（木）から 2 月 12 日（木）まで

通常チケット県民先行抽選販売
申込期間 3 月 19 日（木）から 4 月 12 日（木）まで

▶チケット購入には ID 登録が必要です。今すぐ公式サイトでチケット ID 登録をしよう！

tickets.rugbyworldcup.com

ラグビーワールドカップ チケット

検索



▶ID 登録のサポートなど、チケット購入についての相談窓口を開設しています。

県ラグビーワールドカップ 2019 推進課 ☎ 019 - 629 - 6799

釜石市ラグビーワールドカップ 2019 推進室 ☎ 0193 ㊟ 8420



Q 地元選手の育成についてどのようにしていくのか。一般の人の楽しみ方といった啓発についてどのように考えているか。

A まずはカヌーに親しむことが大事ということ。カヌー愛好会やダムフェスでのカヌー体験などを実施しています。今後のカヌー競技者の育成について、競技者を地域おこし協力隊として雇用し現地で活動してもらうことも検討しています。啓発については、広報で周知を図っていますが、国体時のようにパンフレット形式で大会の前や大会の際にルールや楽しみ

テーマ
（仮称）地域会議について

Q 地域の課題について、地域の人たちがさまざまな意見を自由におおらかに話し合いができることが望ましい。一番大切なのは、市民と行政が協働で取り組むこと。

A 30 の地区振興会の活動内容などを、奥州地域会議を通じてお互いに認め、共通理解を深めるということ。まずは大切にしなければなりません。また、各地域会議で自主的にやってみたいということがあれば、市でも支援していきます。

Q カヌー振興について、奥州湖交流館の積極的な活用を検討してほしい。

A カヌー競技場周辺でオリンピック事前合宿地や大学カヌー部の合宿地などの話もあり、さまざまな角度から検討していきます。

Q 2 層式の構成となっているが、各地域会議からの意見はできるだけ市政に反映させられるような仕組みにしてほしい。

A 聞くだけにならないよう、できるだけ事業に反映していきます。道路要望などは「市長と地域を語る会」もありますが、さまざまな意見を寄せてください。



Q 「奥州地域会議」「各地域会議」の違いが不明確。議会との兼ね合いはどうなっているのか。

A 全体枠と地域枠の 2 つの異なるものを設置します。30 の地区と連携するための「奥州地域会議」は、地域それぞれの考え方を市が知るため設けるものです。地域の意見を踏まえて市議会へ伝える流れを組み立てる目的もあります。

Q 各地域会議に一定の予算をつけてもらえないか。そうすれば特定課題に対し、即実行できる。

A 議会とも議論となった項目。各地域会議に予算をつけることにより、事業の選定など役員にかえって苦労をかける部分もあると思います。従って、地域会議への予算化は行わない案となっていますが、事業化を目指す案件は、「協働の提案テーブル」事業を活用していただきたいです。

Q 地区センターの役割が大きくなっており、この会議が活性化されるよう雰囲気づくりを行っていききたい。市でも地域の思いを受け入れてほしい。

A 地域からの声を聴き、必要とされる部分については市も支援します。事業の展開では、協働の提案テーブルも整えています。地域が前へ進むための手伝いをするとともに、広く皆さんに理解

市民の皆さんからのご意見を、これからの市政運営に生かしていきます。ご参加ありがとうございました。

Q 地域会議について、構成員の男女比に偏りが出ると思う。せめて 10 年後には男女比が 6 対 4 になるようにできないか。地域の課題は男性だけで決めることではなく、女性がこの会議に参加できるのが当たり前と思えるよう環境づくりも頑張ってください。

A 地域会議に限らず、男女共同参画については、実現がなかなか難しく、市内でもまだまだ遅れている雰囲気があると感じます。意識の壁も強いので、一つ一つ現状を変えていかなければなりません。できることから一つずつ、目標を示して仕組みづくりを考えていきます。

されるよう努力していきます。

Q 地域会議について、構成員の男女比に偏りが出ると思う。せめて 10 年後には男女比が 6 対 4 になるようにできないか。地域の課題は男性だけで決めることではなく、女性がこの会議に参加できるのが当たり前と思えるよう環境づくりも頑張ってください。

A 地域会議に限らず、男女共同参画については、実現がなかなか難しく、市内でもまだまだ遅れている雰囲気があると感じます。意識の壁も強いので、一つ一つ現状を変えていかなければなりません。できることから一つずつ、目標を示して仕組みづくりを考えていきます。



文科省 有識者会議の動向

文部科学省で12月5日、8回目の「国際リニアコライダー（ILC）の日本誘致を検討する有識者会議」（座長・平野真一 名古屋大学教授、委員14人）が開催され、国際委員会が承認した※建設方針について、意見を交わしました。今回の国際委員会の承認によりこれまで有識者会議が議論の前提としてきた諸条件が変更となるため、同会議内に設置していた科学的意義やコストを検証する作業部会を

※整備延長を20キロからスタートし段階的に拡張していく計画で、初期コストを最大40％削減できる見込み。世界の加速器研究所の所長らで構成する国際将来加速器委員会（ICFA）で承認された

再設置して、詳細な議論が行われることになりました。1月にも作業部会の会合を予定しており、ことしの夏頃と見込まれるILC誘致の政府判断に向け、さらなる議論の加速が期待されます。

市は、引き続き有識者会議の状況を注視するとともに、東北ILC準備室や県などの関係団体と密接に連携しながら、ILC実現に向けて全力で取り組みます。

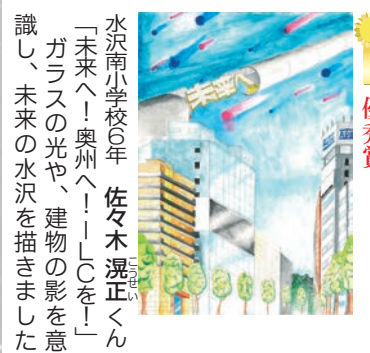
水沢高校 SSH英語ポスター発表会

県のILC推進モデル校に

指定されている県立水沢高等学校で12月5日、英語ポスターによる発表会が開催されました。昨年10月にKEK（高エネルギー加速器研究機構）やJAXA（宇宙航空研究開発機構）などで研修を行った理数科2年生の生徒たちが、そこで学んだ内容をまとめた英語ポスターを製作し、発表。発表者の一人である角地要さんは「KEKはILCと同様、大規模な加速器研究施設。中学生のときも市の科学体験研修で見学したが、改



12月3日に行われた表彰式



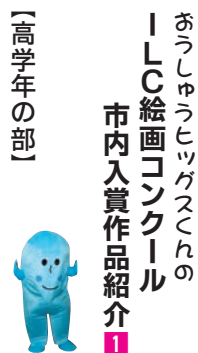
水沢南小学校6年 佐々木 凜正くん「未来へ！奥州へ！ILCを！」ガラスの光や、建物の影を意識し、未来の水沢を描きました。



黒石小学校6年 及川 美海さん「奥州から宇宙へ！」ILCを知ってほしいのでトンネルを目立つようにしました。



人首小学校5年 西岡 凜さん「みんなの夢を未来へつなげ」ILCが早くできるといいなあと思いながら描きました。

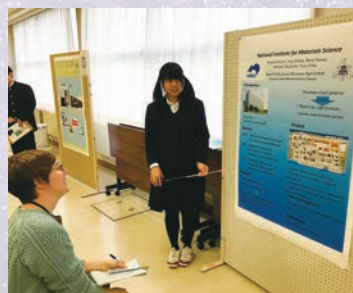


【高学年の部】ILC絵画コンクール市入賞作品紹介



希望のひかり 第50回

市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画について最新情報をお届けします」



質疑応答も英語で行われた

ILC絵画コンクール入賞作品決定

県南広域振興局が主催し市などが共催したILC絵画コンクールの入賞作品が決定しました。本コンクールは、ILC普及啓発活動の一環として小学生を対象に実施されたもので、低学年の部148点（うち市内43点）、高学年の部210点（うち市内128点）の応募がありました。なお、市内児童の入賞作品については、今後、本コーナーで紹介していきます。

Road to 2018 いわて奥州きらめきマラソン



5月20日開催の第2回大会の情報を、5月まで毎月お届けします。

■問い合わせ＝いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局（江刺総合支所・内線 334、335、336）

◎大会運営ボランティア・いわて奥州きらめきマラソン応援隊を大募集！

第1回大会参加者から、大会当日のボランティアスタッフと沿道の応援に対する感謝の声が多数寄せられています。それは、奥州市のおもてなしが全国のトップレベルだと賞賛されている証。第2回大会も引き続き皆様のご協力をお願いします。

【大会運営ボランティア】

■応募期限

1月31日（日）

■対象

本大会の趣旨に賛同できる個人、グループまたは団体

■活動時間

午前7時～午後4時（若干前後することがあります。係によって時間は異なります）

■活動内容

給水所でのサービス、完走証や参加賞の受け渡し、ゴール付近でのドリンク配布など

■応募要件

○平成30年度時点で中学生以上の人（応募時点で中学生未満の人は保護者の同意が必要）
○事前説明会に参加できる人（日時、場所など詳細は後日お知らせ）

■その他

事前説明会および大会当日の集合場所には各自でご参集願います



【いわて奥州きらめきマラソン☆応援☆隊☆】

■応募期限

2月28日（日）

■募集数

20団体（原則1団体20人以上）



■応援内容

ランナーへの声援、郷土芸能、楽器演奏、ダンスなど

■実施場所（時間）

常盤地区（9:00-12:00）	水沢	羽田地区（8:30-10:00）
真城地区（9:30-12:30）	江刺	愛宕地区（8:45-11:30）
姉妹地区（8:00-9:00）	岩谷堂地区（9:00-11:00）	
黒石地区（8:15-9:45）	前沢	白山地区（8:00-14:30）

■その他

場所と時間は、応募団体と事務局で協議して決定

【共通】■申込用紙の配布場所

実行委員会事務局、本庁総合案内、総合支所総務企画課（水沢は総合支所事務局）に配架のほか、大会ホームページからもダウンロード可能

最新情報はこちらから
ホームページをCHECK！

■大会HPアドレス <http://oshukirameki.jp>
※市公式サイトのパナーからもアクセス可能

きらめきマラソン

検索

いわて奥州きらめきマラソンは5月20日開催

一関・奥州・平泉 3市町合同企画 東稲山麓地域の世界農業遺産認定に向けて

vol. 7

■問い合わせ＝本庁農地林務課 農村保全推進室（内線372）



東稲山麓地域の世界農業遺産認定に向けた取り組みや地域の活動などを紹介します。

【世界農業遺産シンポジウムを開催】

「東稲山麓地域世界農業遺産シンポジウム」は12月2日に平泉ホテル武蔵坊で開催されました。

当日は地域住民など約100人が参加。協議会による取り組み報告の後、富士大学の岡田

秀二学長が林野と森林保全との連携の必要性について、NPO法人里山自然学校はずみの里の阿部慶元氏が動植物調査結果と景観保全との関連について、それぞれ講演しました。

また、東稲山麓地域の魅力を発信する目的で行われた東稲山麓地域写真コンクールの表彰式も行われました。



地域課題解決に向けた先進的な取り組み内容に耳を傾ける参加者たち

市は12月2日、30地区の振興会長など役員を対象とした研修会をプラザイン水沢で開催しました。各地区振興会が抱える地域づくりの課題解決の一助となるよう毎年開催しているものです。

NPO法人いわて地域づくり支援センターの若菜千穂さんを講師に迎え、「地域の課題を解決するために」と題した講演では、地域運営のノウハウや高齢化が進む地域の公共交通問題への対応などの先進事例が紹介され、地域づくりについての研さんを積み重ねる機会となりました。

「より良い地域づくりを目指し」



協定書を手にする千野社長(中央左)、小沢市長

市は、東北日発(株)と立地協定を結び、12月18日に市役所で調印式を行いました。

同社は、自動車シートフレーム部品の製造を行う工場を江刺中核工業団地(江刺区岩谷堂)に立地し、12月1日から操業を開始しています。

「地元雇用の創出と地域社会との融和を図りたい」と話す千野社長に、小沢昌記市長は「長年培った技術を発揮していただき、工場の発展を期待する。できる限りのサポートをしていく」と謝意を述べました。

「東北日発(株)と立地協定を締結」

おうしゅう

一鍬が生んだ人とまちの絆

奥州市民劇「大地の侍 吉川鉄之助翁物語」北海道公演

水沢出身で姉妹都市北海道長沼町の開拓の祖とされる吉川鉄之助を顕彰する奥州市民劇「大地の侍 吉川鉄之助翁物語」が12月9日・10日、北海道北広島市で公演されました。長沼町開拓130年の記念事業として同町からの声掛けを受け、本市から40人、同町から70人のキャストによる迫真の演技で観客を魅了しました。

お祝いに駆け付けた及川新太副市長は「多くの人に感動を与える演技。姉妹都市が手と手を組み公演を成し遂げた」と姉妹都市のさらなる交流に期待を寄せました。



戸長(村長)となった鉄之助が村人やアイヌの人たちから祝福を受ける

まえやわ

俳人をしのび思いを一句に

梧逸忌第28回全国俳句大会

梧逸忌第28回全国俳句大会(同実行委員会主催)が12月7日、前沢ふれあいセンターで開催されました。この大会は、前沢出身の俳人・遠藤梧逸をしのび、毎年命日に開催されるもので、多くの俳句愛好者が参加。全国から事前に応募があった3,138句のほか、当日句も172句が寄せられました。

当日句の最高賞・梧逸賞には、北上市の下田榮一さん(84)の「たましひのほどよく抜けて懸大根」と詠んだ句が選ばれました。



選者の小畑柚流氏から賞状と記念品を受け取る下田さん(左)

えさし

美味なリンゴが待ってます

第8回江刺りんごまつり

第8回江刺りんごまつり(岩手江刺農協、同農協りんご部会主催)が12月2日、3日の両日、えさし藤原の郷で開催されました。りんご皮むき大会や訳ありりんごの詰め放題などが行われ、多くの人が訪れました。

2日には、岩谷堂高校の生徒が開発に携わったりんごスイーツを販売。朝倉陽君(3年)は「まつりでは初販売の“りんごっぷる”と“林檎のしっとりケーキ”。和風と洋風の2種類で、幅広いお客さんに受け入れてもらえそうです」と商品をPRしました。



好評だった岩谷堂高校生による「りんごスイーツ」販売会

このまがや

伝統を受け継ぐ心、脈々と

南股芸能まつり

南股地区振興会(菅原英記会長)主催の南股芸能まつりが12月3日、南股地区センターで開催されました。みちのく衣川霧山太鼓で幕を開け、衣川小学校み神楽有志や大原神楽保存会、兼ねてより神楽団で親交の深い鶯沢神楽保存会(宮城県栗原市)の出演もあり、総勢5団体が伝統の舞を披露しました。

9月に東北神楽大会で優勝した川内神楽保存会は「一の谷」を上演。源氏の武将熊谷直実が、昔仕えた平経盛の子、敦盛を泣く泣く討ち取る場面を熱演しました。



情感を込めて「一の谷」を演じる川内神楽保存会

まえやわ

よいしょと掛け声元氣よく

絵本の読み聞かせと餅つき

企画展「うしはく発犬伝」の関連イベントである絵本の読み聞かせと餅つきが12月9日、牛の博物館で行われました。親子連れなど多くの参加者が「おはなし広場」の皆さんによる読み聞かせと餅つきを楽しみました。

子どもたちは臼ときねで餅つきを体験し、出来上がったばかりの柔らかいきな粉餅に舌鼓を打ちました。前沢小学校1年の佐々木悠聖君は「初めての餅つきで楽しかった。思ったよりきねが重かったけど、またやってみたい」と笑顔で話しました。



読み聞かせに聞き入る参加者たち(左)、「よいしょ! よいしょ!」と掛け声に合わせ(右)



「無言の水筒」と名付けられた特別企画(写真左手)。ほかに軍服やポスターなど約300点が展示された

みずやわ

物言わぬ資料が伝える戦争

企画展「郷土兵団物語」～わが村の戦争の記憶～

平和ミュージアム旧日本陸海軍博物館(江刺区、八重樫正博館長)の主催する企画展「郷土兵団物語」が12月4日から10日にかけて、まちなか交流館で開催されました。太平洋戦争開戦記念日の8日に合わせた展示で、先人の労苦に思いを馳せる場として企画されました。

「一つにつき一人の兵士の物語があった」と八重樫館長は31個の水筒を紹介。会場を訪れた水沢区の伊藤新一さん(88)は「昭和20年9月から従軍が決まっていた」と自己の記憶と重ね合わせていました。



遠藤 勝年さん(41)
歩 美さん(42)
＝江刺区岩谷堂字金打＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

1月27日と28日に江刺体育文化会館(ささらホール)で公演される第10回奥州市民☆文士劇「ヤマトタケル」。キャストで参加している勝年さんと歩美さんの夫婦です。

出会いは5年前の文士劇「元禄花舞台」。初参加で主役を演じた勝年さんは、歩美さんと夫婦役で共演します。勝年さんの配慮でもとも演じやすかったと話す歩美さん。公演後も一緒に食事をするつ

ち、交際が始まり、平成27年11月に結婚しました。

二人は手づくりで結婚を披露する会を企画し、親族を招いて開催。人を笑わせるのが好きな勝年さんは、自ら司会するなど楽しい演出をたくさん考え、参加者からの「本当に楽しかった」との言葉がともうれしかったといいます。

奥州エフエムのパーソナリティーを務める勝年さんは、朝4時に起きて出勤します。毎朝お弁当をつくってくれる歩美さんに「いつまでも元気に笑っていてほしい。これからも笑わせます!」と感謝の気持ちを伝えます。

二人のご褒美は、年一回の温泉旅行。ゆっくり過ごす時間を大切にしています。

文士劇の魅力は、キャスト・スタッフでひとつのものをつくり上げる喜びと語る二人。「公演に向け、全員で頑張っています。ぜひ観に来てください」と話す二人でした。



千葉 美咲さん
(衣川区・衣里小学校6年)

Interview

夢 トーク

将来の夢は「ブライダル コーディネーター」

——学校での役割は？

児童会の書記です。自分たちでみんなが楽しめる企画を考えています。夏には、楽しみながら暑さをしのぐ「水かけ集会」を企画しました。

——小学校生活の思い出は？

修学旅行で仙台と松島に行ったことです。友達と一緒に最高の思い出をつくりました。

——好きな教科は？

社会です。歴史と政治などに興味があります。戦国時代の武将・織田信長は、常に新しいことを考えていて、すごい人だと

思います。

——中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

今もやっているバドミントンを続け、レギュラーを目指します。勉強では、数学が難しいと思うので頑張ります。

——将来の夢を教えてください。

ブライダルコーディネーターです。人のために頑張りたいと思いました。困っている友達を助けたり、支えたりできるような人になりたいです。そのためにこれからの学校生活や行事も大切にしていきたいです。



青春讃歌

ソフトテニス部(女子) (水沢高等学校)

- ◎部員数 12人
- ◎顧問 菊池 健弥 先生
- ◎顧問 照井 俊仁 先生
- ◎部長 千葉 洸佳さん(2年)
- ◎主将 及川 安佑さん(2年)

目標は県高総体連覇 インターハイ出場

昨年9月に行われた県新人大会で団体3位の成績を収めた水沢高校の女子ソフトテニス部。2年生7人、1年生5人の計12人が活動しています。

夏場は学校のコート、冬場は体育館を借りてほぼ毎日練習しています。「チームワークを大切にし、みんなで声を掛け合って明るい雰囲気をつくりながら、技術向上に取り組んでいる」と話す主将の及川安佑さん。勝ちに行く姿勢を忘れないため、部活動を始める前に「絶対勝つぞ!」と全員で声を掛け合います。

昨年の高総体では31年ぶり4回目の団体優勝を果たしたソフトテニス部。「強くて頼りになる先輩たちが引退し、不安もある中挑んだ県新人大会。目標としていたベスト4に届いたけど、もっと上を目指

したい」と語る部長の千葉洸佳さん。県新人大会での反省を生かし、ピンチになったときを想定した練習を強化します。

顧問の菊池先生は「テニスが大好きで、明るく仲が良い部員たち。勝ちたい気持ちが強く、練習も真剣に取り組んでいる。高総体連覇は簡単ではないが、不可能とは思っていない」と期待を寄せます。

「練習は試合のように、試合は練習のように」をモットーにみんなでレベルアップを目指し、高総体連覇そしてインターハイ出場を目標に今日もボールを追い掛けます。



コート1面で乱打とボレーの練習をする部員たち



皆さま、明るく穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市出身の大谷翔平選手が、大リーグのエンゼルスに入団が決まりました。常に向上心を持ち新しいことに挑戦する姿勢に好感を覚えます。「二刀流」で世界の頂点を目指す大谷選手に、全市民を挙げて熱い声援を送りましょう!

先月台湾で開催された少年野球国際大会に若柳小6年の菊地碧君、胆沢第一小6年の佐藤衣吹君と五嶋真生君の3人が出場しました。貴重な経験と交流を深めたことと思います。大谷選手を目標に、日本や世界での活躍を願います。

5月に開催する「いわて奥州きらめきマラソン」の参加受け付けが始まっています。本市を丸ごと体感できるマラソン大会に、奮って申し込み

ください。

自動車用のシートフレーム部品の製造などを手掛ける東北日発株式会社と立地調印式を行いました。既に12月から操業を開始しており、今後は生産工場を増設し、東北地区での事業強化を図る計画です。同社の更なる発展と雇用拡大を大いに期待します。

日本鑄造工学会の特別功労賞を根岸工業所会長の佐藤庄一さんが、キャスティング・オブ・ザ・イヤー賞を水沢鑄工所が受賞しました。佐藤さんは、いわて鑄造研究会長としての功績と学会での活躍が認められ、水沢鑄工所は高級炊飯器「南部鉄器 極め羽釜」の開発が認められたものです。業界の先導役として益々活躍いただきたいと思います。

本年の干支「戌」という字は「戌」と「一」の漢字2文字を合わせたとき、刈って収穫した作物を一つにまとめるという意味があります。皆さまの一年が、実りあるものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。

奥州市長 小沢昌記



食の黄金文化
奥州輝かせ隊
小坂 朋子の

おうしゅう こさんぽ

OSHU KOSANPO -vol. 11-

小坂さんが見たもの、感じたことなどをお届けするこのコーナー。
「食の黄金文化・奥州フェア」で奥州市の魅力をPRしてきました。

みなさん、こんにちは！ 食の黄金文化・奥州輝かせ隊の小坂朋子です。11月23日から28日まで、東京・東銀座にある県のアンテナショップ・いわて銀河プラザにおいて「食の黄金文化・奥州フェア」を開催しました。おととしに続いて2回目の開催となります。今回のフェアでは商品の選定から準備、当日の運営までの全てを任せていただき、江刺産りんご、新米、市産食材を使用した加工品など、奥州市の魅力あるこだわり製品を紹介し、販売してきました。

対面販売をしていると、お客様のリアルな反応



輝かせ隊の活動はホームページでご覧いただけます

食の黄金文化・奥州輝かせ隊

検索



江刺産りんごやりんごジュースは今年も大人気でした。

に直面でき、とても勉強になります。今回もさまざまな声を聞くことができました。その中でも「前回のフェアで買った〇〇がとてもおいしかったから、また買いに来た」という多くの声をいただきました。奥州市のファンが増えてきていることを実感でき、地域おこし協力隊としての活動の成果を少しずつ感じられるようになってきました。

早いもので、協力隊として過ごす最後の年を迎えました。全国に奥州市の魅力を広めていけるよう、最後まで精一杯活動に取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願い申し上げます。

姉妹都市

静岡県 掛川市

掛川だより

訪日外国人へ掛川の魅力PR

外国人向けウェブサイトでシティプロモーション

訪日外国人向け観光ウェブサイト「ジャパンガイド」の取材班が12月4、5日の両日、掛川市を訪れ、掛川城や掛川花鳥園、甲冑の試着体験、茶の体験などを取材しました。平成8年に開設されたジャパンガイドは、毎月の閲覧者数が約180万人で、訪日外国人から絶大な支持を集めるサイト。シティプロモーションの一環として、市が初めて海外へのPRを企画しました。

掛川城では、ステファン・シャウエッカー編集長指示のもと、掛川城主山内一豊の甲冑を着けたリポーターが、観光施設などを案内しました。今回の記事は2～3月ごろに同サイトへ掲載予定。シャウエッカーさんは「掛川は城と茶が印象的。茶摘みができるプランなどがあると人気が出るのではないか」と話しました。



掛川城を背景に撮影を行う取材班



広告



我が家のアイドル

136

応募いただいた3歳未満のお子さんの写真を掲載しています。



赤坂 琉海ちゃん(2歳8カ月)
＝水沢区泉町＝
(愛さんの次男)



村上 鳳翔ちゃん(1歳7カ月)
＝胆沢区南都田字加賀谷地＝
(蓮さん・咲さんの長男)



佐藤 有希ちゃん(7カ月)
＝水沢区字北田＝
(誠芳さん・ちひろさんの長女)



(右)千葉 蘭ちゃん(1歳8カ月)
＝江刺区愛宕字境畑＝
(義宏さん・かづえさんの長女)

栄養士オススメ！

子ども喜ぶ 人気メニュー 82

『れんこんスープ』

栄養士オススメ！



～材料(4人分)～

レンコン …………… 1／3節
シメジ …………… 1株
ニンジン …………… 1／3本
長ネギ★ …………… 1／3本
ブロッコリー …… 1／4株
水 …………… 600cc
コンソメ …………… 小さじ2
醤油 …………… 小さじ1

★奥州市産の食材です

／今月のおいしい顔／



江刺保育園のみんな

～作り方～

- ①レンコンは皮をむいてすりおろす。シメジは石づきを取ってほぐす。ニンジン皮をむいて短冊切り、長ネギは小口切りにする。ブロッコリーは小房に分けて茹でしておく。
- ②鍋にニンジン、シメジ、水を入れて煮る。火が通ったら、レンコン、長ネギ、コンソメ、醤油を入れる。
- ③器に盛り、ブロッコリーをのせたら出来上がり。

広告

お知らせ

義肢や装具などの補装具
巡回相談

身体に障がいのある人などを対象に、補装具の交付や修理などについて巡回相談を開催します。

■日時 2月23日 金 午前11時～午後2時（受付は午前9時～11時半） ■場所 江刺総合支所多目的ホール ■申し込み方法 2月9日 金 までに次の内容を電話または直接連絡 ▼氏名 ▼生年月日 ▼住所 ▼電話番号 ▼身体障害者手帳番号 ▼補装具の種類、交付・修理の別 ▼希望する補装具業者名 ■持ち物 身体障害者手帳、マイナンバーが分かるもの、印鑑 ■問い合わせ・申込先 本庁福祉課障がい福祉係（内線 227）、各総合支所健康福祉課

野生鳥獣による農作物被害状況調査にご協力を

野生鳥獣による農作物の被害状況や生息域を正確に把握し、今後の被害防止対策を検討するための調査を実施して

氏（前沢区生母） ■問い合わせ・予約先 郷土の歴史文化保存会推進協議会（鈴木 ☎7441）

集まれ！難聴者・中途失聴者
新春筆談交流会

聞こえに障がいをお持ちの人、筆談の交流を試してみませんか。

■日時 1月21日 日 午前10時～正午 ■場所 市総合福祉センター ■内容 筆談での会話やゲーム ■対象 市内在住で聴力低下により聞こえに不自由を感じている人やその家族、筆談ボランティア経験のある人、筆談に興味のある人など ■問い合わせ・申込先 市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター（☎257171、FAX26690、✉volunteer@oshu-shakyo.jp）

奥州宇宙遊学館・
サンデースクール

「オーロラ・光の不思議」電気でオーロラ作れるかなど。実験器具を使ってオーロラの光を再現し、しくみを学びます。

います。対象期間中の被害について、情報の提供をお願いします。

■対象期間 29年4月～30年3月 ■調査内容 鳥獣名、農作物名、栽培目的、被害場所、被害時期、被害面積、被害量 ■情報提供受付期限 4月9日 日 ■問い合わせ 本庁農林部農村保全推進室（内線 372）

知ってトクする！来てみて楽しい
前沢さわやか健康セミナー

「ストップ！ザ・脂質異常」をテーマにした講演とミニコンサート。お気軽にお越しください。

■日時 1月26日 金 午後1時半～4時 ■場所 前沢さわやか健康センター（前沢診療所内） ■内容 ①講演「脂質異常が恐いわけ（臨床検査技師・相原淳路）」、②講演「食生活で気をつけるポイント」（管理栄養士・千葉彩子）、③ミニコンサート ■問い合わせ 前沢診療所（☎23200）

環境交流フォーラム

東日本大震災津波の被災地

■日時 1月28日 日 午後2時半～3時半 ■対象 小学生 ■定員 20人 ※要申し込み ■参加料 無料 ※別途入館料が必要 ■場所・問い合わせ・申込先 奥州宇宙遊学館（☎242020）

登記無料相談会

登記に関する無料の相談会です。お手持ちの資料があればお持ちください。

■日時 1月27日 日 午前10時～午後3時 ■場所 コーポラテルイ2階会議室 ■内容 土地の分筆、建物の登記など不動産登記全般 ■問い合わせ 県土地家屋調査士会水沢支部事務局（佐原 ☎248362）

税理士による所得税の
還付申告書作成指導会

所得税還付申告の書類作成方法を無料で指導します。

■日時 2月3日 日 午前10時～午後3時半 ■場所 メイプル地下多目的ホール ■対象 給与所得や年金所得があり、医療費控除などで所得税の還付申告をする人 ■問い合わせ 市内の各税理士事務所

における自然や環境の復興などをテーマとして開催します。

■日時 2月14日 日 午後1時半～ ■場所 江刺総合支所多目的ホール ■内容 特別鼎談「東日本大震災津波からの自然環境に係る復興等について」 ▼パネルディスカッション「多様な主体が連携した自然保護活動の推進について」 ■定員 100人 ■入場料 無料 ■申し込み方法 申込先で配布する申込書を2月2日 金 までにファクスで提出 ■問い合わせ・申込先 県南広域振興局保健福祉環境部（☎2422、FAX254106）

市民提案型協働支援事業

講演会「宮澤賢治と前沢」

冷害に強く美味しい米の普及や土壌改良、肥料設計の指導など、賢治が前沢の農業の発展に与えた影響についてお話しします。聴講は無料です。賢治碑などの見学会も午前9時から併せて開催しますので、電話で予約してください。

■日時 1月20日 日 午前10時～11時半 ■場所 前沢ふれあいセンター ■講師 三浦辰郎

本庁市民課

自動発券機によりご案内します

1月17日より本庁市民課に自動発券機を導入します。

届出や証明書などの交付を受けるときは、自動発券機により番号札を受け取ってお待ちください。音声によりご案内します。

■受付時間（自動発券機稼働時間） 午前8時半～午後5時15分

■問い合わせ 本庁市民課（内線 131）



税申告用

要介護認定を用いた認定書・証明書を発行

市は、税の申告で控除を受けるために必要な書類を次のとおり発行しています。

▶障害者控除を受けるための認定書

65歳以上の要介護認定者は、市の認定書により、要介護状態区分に応じた障害者控除を受けることができます。控除には2つの区分がありますので、要件を確認して申請してください。

※印鑑は不要で、手数料はかかりません

【対象者】

①特別障害者…平成29年12月末（29年中に亡くなった人は死亡日）時点で、要介護状態区分4以上の人、または主治医意見書により寝たきり状態であることが確認できる人

※身体障害者手帳1級・2級の方は、手帳の提示で控除を受けることができるため認定書は不要

②障害者…身体障害者手帳の交付を受けておらず、29年12月末（29年中に亡くなった人は死亡日）時点で、要介護状態区分1から3までの人

▶おむつ代の医療費控除を受けるための証明書

傷病によりおむね6カ月以上にわたり寝たきりで、医師の治療を受けている人のおむつ代は、医師による治療を受けるため直接必要な費用として、医療費控除の対象となります。

【対象者】

主治医意見書により、寝たきり状態で尿失禁の可能性があることが確認できる人

①控除を初めて受ける場合…医師が発行する証明書（有料）が必要

②控除を受けるのが2年目以降の場合…市が発行する証明書（無料）で可

■申請書 認定書・証明書発行の申請書は本庁長寿社会課と各総合支所健康福祉課に配置
■問い合わせ・申請先 本庁長寿社会課介護認定係（内線 264）、各総合支所健康福祉課

広告

広告

第10回奥州市民☆文士劇
“ヤマトタケル”

■日時 1月27日(土)午後3時
、28日(日)午前10時半、午
後3時（いずれも開場は開
演の30分前） ■チケット料金
11前売り1500円（当日2
千円） ■場所・問い合わせ 江
刺体育文化会館（ささらホー
ル ☎31607）



募集

法務局登記講座

登記に係る日頃の悩みや疑
問にお答えしている市民講座
では、今回「遺言、相続登記
および法定相続情報証明制
度」について制度や申請方法
を説明します。お電話でお申
し込みください。

■日時 1月24日(金)午前10時
、11時50分 ■定員 20人（先
着順） ■場所・問い合わせ 盛
岡地方法務局水沢支局（☎24

0511・番号案内「3」

いわて復興パワー

電気料金割引のお知らせ

県企業局と東北電力㈱では、
震災復興・ふるさと復興を目
的に、東北電力から高圧で受
電する事業者などに対し、電
気料金の割引を行います。詳
しくは県企業局のホームペー
ジをご確認ください。

■対象事業者 震災復興・ふ
るさと復興（平成28年台風第
10号災害復旧復興を含む）に
関する国・県からの補助金の
交付を受けたことがあり、東
北電力から高圧（6千ボルト）で
受電する事業者など ■割引の
内容 電力容量料金の5割を割
引（最大で2年間、32年3月
までの料金） ■申請期限 31
年1月末 ■問い合わせ 県企
業局「いわて復興パワー事務局」
（☎019-629-6389）

国有林モニター

国有林の管理・経営に皆さ
まの声を役立てていくため、
30・31年度のモニターを募集
します。

金曜教室

（毎週金・全6回）
■期日 2月16日、3月23日
（毎週金・全6回）

▼共通コース 各教室に午
前コース（午前9時半）、午
後コース（午後1時半）あ
り ■受講料 2千円（全6回
のゲーム代、貸靴代、教材費、
保険料を含む） ■場所 11ボウ
リング・クオリア ■定員 各
コース48人 ■問い合わせ・申
込先 11健康ボウリング教室受
付（千葉 ☎090-7075
15222）

The 鬼ごっこ
挑戦チームを募集

チーム制の鬼ごっこ。ミッ

放射能測定結果

ごみ焼却施設 (ベクレル/kg)		
採取日	12/13	12/20
主灰※1	35	13
飛灰※2	157	86

【参考】国の基準値＝8,000ベクレル/kg

※1 主灰…ごみの燃え殻

※2 飛灰…排ガス中のばいじん

(ベクレル/m³)

採取日	12/13
排ガス	不検出

胆江地区最終処分場 (ベクレル/l)

採取日	12/13	12/20
地下水(上流)	—	不検出
地下水(下流)	—	不検出
下水道への放流水	2.7	2.3

■問い合わせ 奥州金ケ崎行政事
務組合施設管理課（☎245821）

シオンをクリアしながら、鬼
チームから逃げ切れるか。
3人1チームでご応募くださ
い。豆まきも行います。また、
参加チームの保護者・引率者
限定で鬼役も募集しています。
■日時 2月3日(日)午後1時
半、■場所 11市総合体育館 ■
対象 11市内小学生 ■定員 10

チーム ■参加料 1チーム6
00円 ■申込期限 1月27日
(金) ■申し込み方法 11申込先に
電話またはファクス ■問い合
わせ・申込先 11市総合体育館
（☎270000、
☎270001）



奥州市役所

☎ 023-8501
岩手県奥州市水沢区大手町一丁目1番地

「奥州市」を知ろう！



■奥州市公式ホームページ
http://www.city.oshu.iwate.jp

■ツイッター公式アカウント
@oshu_city

■フェイスブック
https://www.facebook.com/oshucity

■奥州市ILCウェブサイト
http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/ilc/

■奥州市防災・防犯ウェブ
http://www.bousai.city.oshu.iwate.jp/

編集後記

☑餅つきの取材に行ってきました。
出来上がった餅を一口いただきましたが、
なんとも言えない柔らかさ。
小学生の頃、母の実家で餅つきした
ことを思い出しました。臼ときね、
まだ残っているかな？ 今度子ども
たちと一緒につきたいです。（悟）
☑芸能まつりの取材に行きました。
初めて神楽を間近で見ましたが、役
になりきり情感たっぷりに舞う姿に
見とれました。市内各地に神楽や鹿
踊りなど伝統芸能がありますが、継
承しようと努力されている皆さんに
頭が下がります。（珈）

広報マンによる

今月の1枚



ILC出前授業のため常盤小にやってき
たおうしゅうヒッグスくん。首が回らな
いのか、そもそもないのか、上方からの
カメラに顔を向けられず、周囲から失笑。

広告

広告

伊手熊野神社蘇民祭

Ⅱ 江刺区伊手字角屋Ⅱ

裸の男と炎のまつりとして知られる蘇民祭は市内3カ所で行われる。その一つが伊手熊野神社蘇民祭だ。400年以上前に凶作や疫病などに苦しんだ人々が、黒石寺の蘇民祭を手本に始めたと伝わる。参加者の減少から昭和35年に中断されたが、45年に復活して隔年で開催。50年からは上伊手地区だけでなく伊手全域の祭りとなつて、毎年開催されている。

午後6時ごろに始まる祭りは、ご膳上げ、四角のぼり、火たき登り、別当及び袋登り、鬼子登りとテンポよく進み、11時半ごろにクライマックスの蘇民袋争奪戦を迎える。拝殿の中、境内、水田と舞台を移しながら、裸の男たちは「取主」と呼ばれる袋の口前をつかんだ者になると、蘇民袋へと手を伸ばして激しい争いを繰り広げる。

祭りは1月第3土曜日に開催される。ぜひ、この迫力を肌で感じてほしい。



❶祭りの象徴である「火たき登り」。歳戸木^{さいとぎ}と呼ばれる丸太を3m以上井桁に積み、火をつける。裸の男たちはその上で火の粉と煙を浴び身を清める ❷熊野神社拝殿。ことしもここから蘇民袋の争奪が始まる ❸蘇民袋争奪戦の途中で蘇民袋は切り開かれ、中の小間木(蘇民将来の護符)がまかれる。裸の男たちだけでなく観衆も押し寄せ、宙を舞う小間木(写真中央)に手を伸ばす

広告